

北朝鮮・ミサイル問題での日本共産党の見解・態度

対話による解決に逆行する行為を 中止せよ 北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議

2017年8月29日 日本共産党委員長 志位和夫

一、北朝鮮は本日、国際社会が強く自制を求めているもとで、弾道ミサイルの発射を強行した。これは、世界と地域の平和と安全にとっての重大な脅威であり、累次の国連安保理決議などに違反する暴挙である。通告なしに日本列島の上空を飛び越える発射は、きわめて危険な行為である。日本共産党は、厳しく糾弾し、抗議する。

とりわけ、今回の発射は、米国を含めて国際社会が対話による解決を模索しているもとで、それに逆行する性格をもつ行為であることを、強調しなければならぬ。

一、世界と地域の平和と安定を破壊し、おびただしい犠

牲をもたらす軍事衝突は絶対に回避しなければならないことを、重ねて強調する。

北朝鮮に対して、これ以上の軍事的挑発を中止することを厳重に求める。国際社会および関係国に対して、経済制裁の厳格な実施・強化と一体に、対話による解決の道を粘り強く追及することを、強く要請する。

係諸国に対して、次の諸点を緊急に要請する。

(1)現在の危機が引き起こされた根本は、北朝鮮が、累次の国連安保理決議に違反して、核兵器・ミサイル開発を進めてきたことにある。北朝鮮に、国連安保理決議を順守し、これ以上の軍事的な挑発行為——とりわけ無謀きわまる「グアム島周辺への包囲射撃」の計画を中止することを強く求める。

危機打開のため米朝は無条件で 直接対話を 北朝鮮・ミサイル問題での声明

2017年8月12日 日本共産党委員長 志位和夫

一、北朝鮮の核兵器・ミサイル開発をめぐる米国と北朝鮮の間の緊張が、軍事衝突の危険性をはらむ新たな事態へと深刻化している。

国連安保理が新たな制裁決議を採択したこと（5日）に對して、北朝鮮は7日、「断固たる報復で対処し、全面的に排撃する」と強く反発した。

さらに10日、「アメリカに嚴重な警告信号を送る」として「グアム島周辺への包囲射撃」を検討していると表明し、米国を強く軍事的に威嚇した。

一方、米国のトランプ大統領は、「北朝鮮がこれ以上アメリカを脅すのであれば、炎と激しい怒りに直面することになるだろう」（8日）、「グアム

に何かしたら、誰も見たことのないようなことが北朝鮮で起こる」（10日）などと発言している。

米朝両国が、直接相手の意図を確かめるすべのないまま、軍事的恫喝の応酬をエスカレートさせることは、たいへんに危険である。それは、当事者たちの意図にも反して、偶発的な事態や誤算による軍事衝突につながりかねないことを、強く憂慮している。

一、世界と地域の平和と安定を破壊し、おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は、絶対に回避しなければならない。日本共産党は、現在の危機を打開し、問題の平和的・外交的解決をはかるために、関

(2)米朝両国に対して、強く自制を求めるとともに、現在の危機を打開するために無条件で直接対話に踏み出すよう呼びかける。直接対話に踏み出すなかで、核・ミサイル問題を解決する可能性を追求すべきである。この点で、トランプ大統領が北朝鮮との交渉に関して「オバマ（前政権）は話すらしたがらなかったが私は話す。誰かがやらなければならぬ」（10日）と述べていることに注目している。

(3)日本は、米朝間で何らかの軍事衝突が起こった場合に最大の被害を受ける国の一つとなる。日本政府は、緊張をさらに高める軍事的対応の強化でなく、米朝の直接対話を實現し、核・ミサイル問題を平和的・外交的に解決するための努力をはかるべきである。



志位和夫・日本共産党委員長